

北海道浮魚ニュース

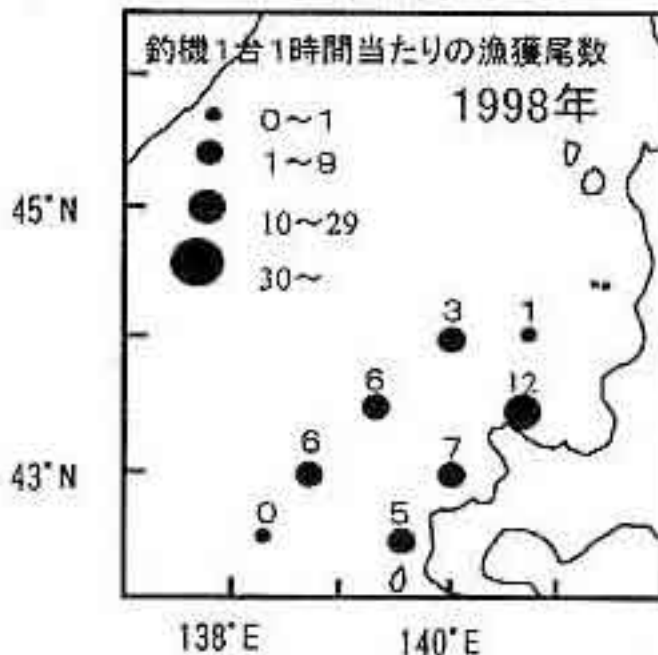
平成10(1998)年度 4号 (通巻 No.25)

1998年7月6日

北海道立中央水産試験場	Tel : 0135-23-8707	Fax : 0135-23-8709
釧路水産試験場	Tel : 0154-23-6221	Fax : 0154-23-6225
函館水産試験場	Tel : 0138-57-5998	Fax : 0138-57-5991
稚内水産試験場	Tel : 0162-23-2126	Fax : 0162-23-2134
網走水産試験場	Tel : 0152-43-4591	Fax : 0152-43-4593

◎道南～道央日本海スルメイカ調査結果 (調査期間: 6月23日～7月1日)

① スルメイカの分布密度と大きさ



前年よりも、分布密度低く、魚体は小型

スルメイカの分布密度 (CPUE: 自動いか釣機1台1時間当たりの漁獲尾数) は0.3~12であり、前年、前々年よりも低くなっていました (図1)。積丹半島北側の沿岸寄りで比較的分布密度が高くなっていました。

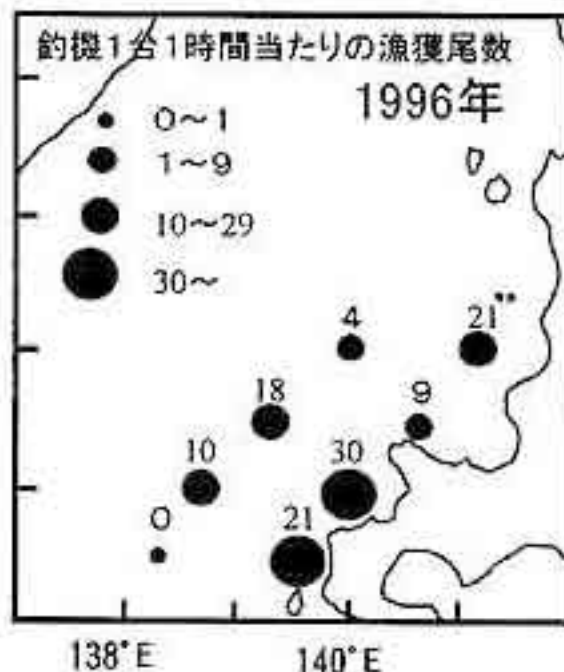
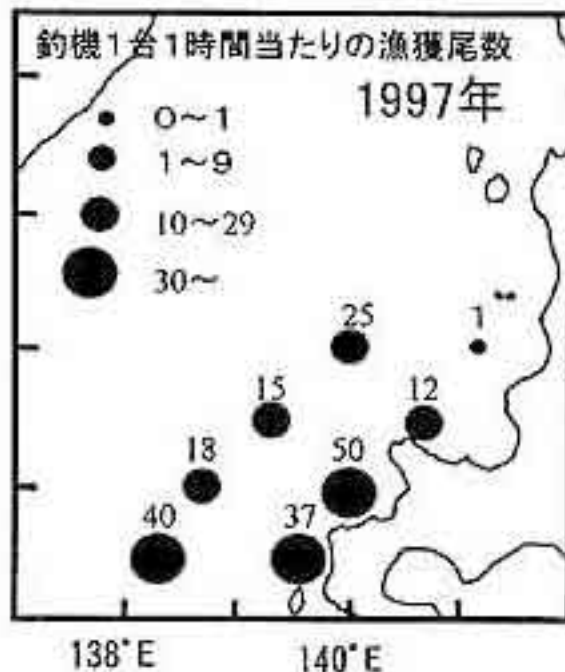


図1 スルメイカの分布密度 (左上:1998年、左下:1997年、右下:1996年)

スルメイカの外套長（胴体の長さ）は20～21cmの個体が多く、前年（1997年）より小さく、前々年（1996年）よりも大きくなっていました（図2）。

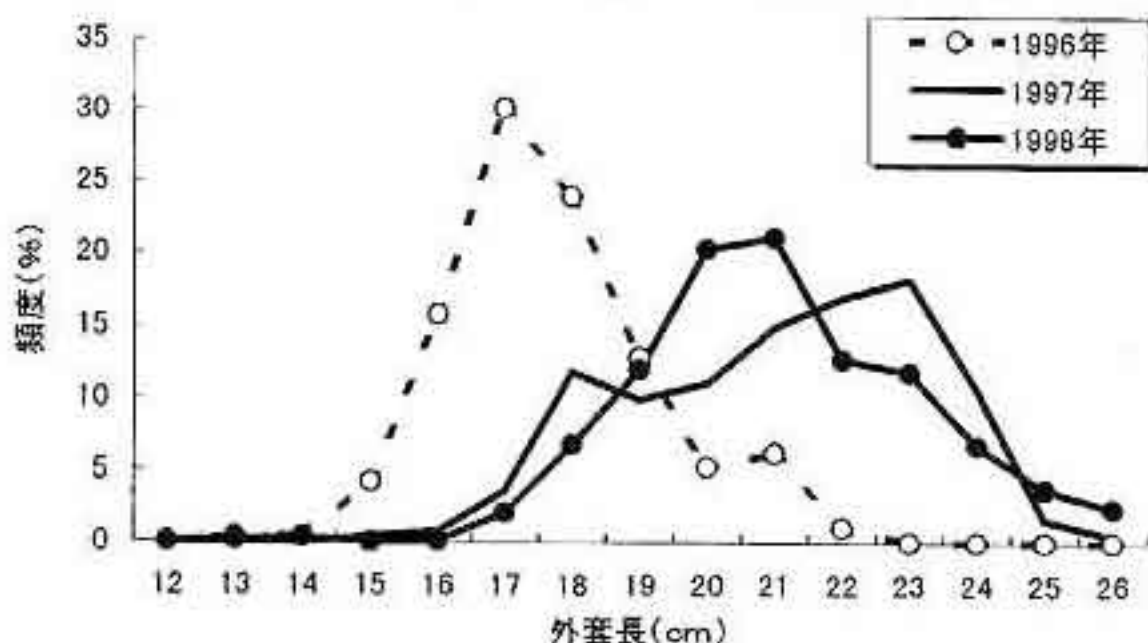


図2 CPUEで重み付けした外套長組成

② 水温分布

調査海域の50m深水温は、前年同様3～12℃台でした（図3）。前年と比較して、沖合でやや低めでした。

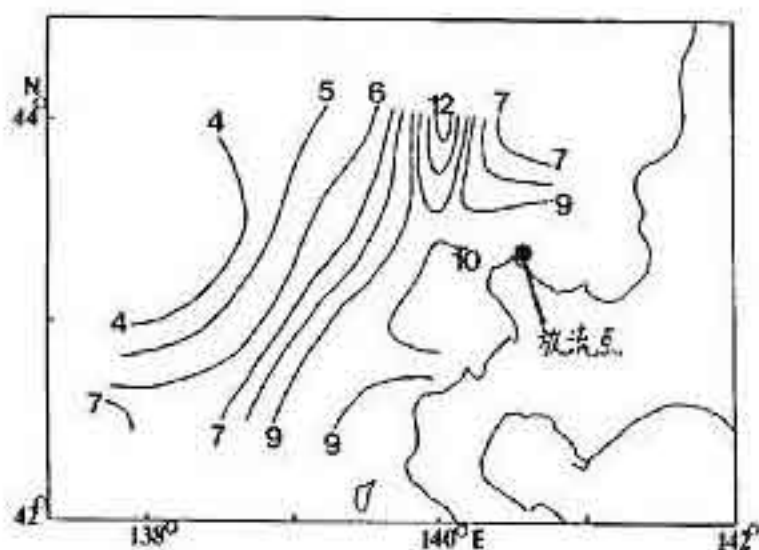


図3 6月下旬の50m深水温分布および標識放流点

③ 標識放流

図3に示した場所で、標識放流を行いました（表1）。標識イカを見つけた方は最寄りの水産試験場までお知らせください。記念品を差し上げております。

表1 スルメイカ標識放流状況

放流月日	放流場所	標識の記号・番号	放流尾数
6月30日～7月1日	43°30'N、140°41'E	JPN 440～444	522

※今回の調査は「日本海スルメイカ漁場一斉調査」の一環であり、全船の調査終了後、水研・水試が共同で漁況予報を出す予定です。

（文責：中央水試 資源管理部）